

山形の母なる川

最上川

創刊号

vol.1

平成17年4月15日

[発行]

山形県倫理法人会

山形市やよい二丁目1-47

TEL 023-647-5582

FAX 023-646-7660

表紙題字／中村俊光氏

CONTENTS

- 会報誌『最上川』発刊によせて……2
- 我が社の朝礼・倫理と出会って……3
- 各単会長挨拶……………4
- 各単会の報告……………6
- 倫理経営講演会報告・今後の予定…8



社団法人 倫理研究所

山形県倫理法人会



会報誌『最上川』 発刊によせて

山形県倫理法人会会長 近 清剛

遠くを望む雪山、たおやかに流れ行く母なる最上川、天は全てに平等に春を誘い、光が暖かさを連れ、大地の肌と樹幹の根は雪を溶かし、新しい生命を誕生させ、もどかしげに待っているであろう多くの生命に力を与え、野鳥のさえずりと並る雪解け水、春の山・里にシンフォニーが始まる。

山形県倫理法人会、多くの先輩諸兄のご努力で、昨年度までに七つの法人会が設立されました。

一挙に噴火をするがごとく、多くの仲間が生まれ、力強い足音に鼓舞され、喜びを戴きました。

平成二年十月に山形県準倫理法人会が設立され、今年創立十五年を迎え、本日山形県倫理法人会会

報誌を発刊させていただきます。発刊が出来ますこと、多くの新旧メンバーに敬意と感謝を申し上げます。

平成十五年の重要な事業として会報誌が予定され、それぞれの地区単会の事業や情報を全会員にお伝えし、各単会の内容の充実と会員のお力になれる執行を模索してまいりました。リレーシヨンからソリダリティー（関係から連携）へと倫理の友の絆を高めていただき、新たな会員の仲間が増えることに繋がるよう、この会報誌に努力を重ねてまいりたいと存じます。

会報誌名は役員会にて『最上川』と決定させていただきました。多くのご応募をいただきました中よ

り、山形市倫理法人会を採用させていただきます。ご応募いただきました各単会に厚く御礼申し上げます。

言うまでもなく、最上川は西吾妻山（標高二、〇三五m）を源流として発し、大江町の海牛化石に見られるがごとく歴史も太古の世界から始まり、シルクロードの終着地として、酒田を基点として最上川舟運の限らない影響、山形の文化の源であります。

その母なる川「最上川」のごとく、会報誌が山形県倫理法人会の源として、我が故郷が喜びと誇りをもって過ごせる風土に貢献できることを願ってまいりたいと存じます。会員皆様の更なるご支援をお願い申し上げます。

さて今年度、長井市に新たな仲間の出会いを求め、八四二社のソリダリティーを目標にしております。

人間は善を目指して生きること自然となっている。又、倫理としての徳を得るには他者を必要とすると言われます。よく生きる為に己の倫理力を注ぎ、自己の実践力を高め、故郷に貢献し、友を求めて参りましょう。

卯月の風は、新しい生命を産み春を誘い、躍動と出発の力を与えてくれる。この卯月・四月、会報誌『最上川』を発刊出来ますことに再度感謝を申し上げ、会員企業のご繁栄とご家庭のご多幸を祈念申し上げます。 拝

尚、表紙題字『最上川』は寒河江市倫理法人会会長中村俊光氏に揮毫をお願いいたしました。

我が社の朝礼

株式会社竹原屋本店
代表取締役社長 五十嵐 慶三
(前山形県倫理法人会幹事長)



「始め良ければ、終わり良し」
職場の活性化をはかるには、「朝礼」が一番。こんな思いで、各社とも、朝一番のスタートの工夫をされていることと思います。

当初、「職場の教養」を使い始めた頃は、朝礼指導も受けながら、「一つの型」に当てはめながら、「正確さ」を大事にして行ないました。それでも、少し慣れるにつれ、人数が多いということもあり、最前列と最後尾では、声の大きさがまるで違うことに気が付きました。これではいかんということで、研究所の先生にご相談し、朝礼のご指導を頂きました。先生の指導は、全員の顔が見えるよう、丸く輪になってやったほうが良いということでした。ようやく形は整ったのですが、今度は新たに、テンポやタイミングが気になってまいりました。「機敏さ、爽やかさ」が今ひとつなのです。単に「大き



な声」が出せれば良いということでもないようです。タイミング良く、みんなの呼吸を合わせることに、なかなかうまくいきません。「朝礼のスタイル」だけで良しとせず、今度は、「職場の教養」本の中味から学び取る方に軸足を移してみました。それでようやく、マンネリ化から脱却が図れ、最後に社長が輪読の内容について、気付いたことなど、必ず述べることにしています。一人一人が、職場の主役であるという意識と自覚を持って、さらなる効果が出るように工夫してまいります。

倫理と出会って

米沢市倫理法人会
広報委員長 中 村 恵



お陰様で米沢市倫理法人会は、本年五月十九日、で満五歳を迎えることになりました。設立の際には、多くの方々に並々ならぬ御尽力をいただきましたことに、まずは御礼申し上げます。ありがとうございます。

五年の月日を重ねて、その成果を問われるとチョット辛いのですが、実践したことといえば現金支払比率を七〇%にしたことくらいでしょうか。支払日を遅らせず、手形を出さず、後二十七日の現金支払いを実施しました(三〇%は手形を歓迎しているため、一〇%は未完)。すると価格は安くなるし、良い情報が優先的に入るようになりました。また、鋼材が中国の活況で品薄になっており入荷が遅れがちなのですが、他社では入らない商品が、なぜか当社では入るといふこともありました。

「お金を生かす」ことなど私にはなかなか出来るものではないので、喜んで支払うくらいならできると思った成果でした。寄付金は会社の使命感として新聞紙上に名前を連ねるのも結構ですが、街頭募金は楽しいと思いません。透明の箱にはたいい小銭しか入っていないので、そこにお札を入れると、うしろから「おっ」という声があります。そこを振り返らずに去っていくと、子供のころの憧れだった月光仮面になったような気分が味わえるのです。

また、社員の子供へ入学祝いをする、手を掛けずとも、自分の子供が増えたような幸福感が味わえます。米沢では今、普及拡大に苦戦していますが、それには大変な徳力と労力が必要です。力不足の私は広報活動を通じて、より多くの人に幸せになるキッカケ創りができたらと考え広報を担当させていただきましたことになりました。よろしくお願いたします。



酒田市倫理法人会

会長 佐藤 茂

- ①酒田米菓株式会社 代表取締役会長
- ②母なる川“最上川”の発刊おめでとうございます。
米沢から酒田まで、倫理が最上川の流れるように県内を貫きました。
私と倫理の出会いには長いのですが、ただ自分だけの生活規範として気楽にやってきておりました。
昨年、6月29日、酒田市倫理法人会が設立されました。熊谷県会長（当時）はじめ会員各位の目標に向けての熱い志と執念深さに、初めて本気になって会員入会勧誘に走り回りました。“信成万事”はそれまで何百回と読んだことでしょう。頭では理解している。しかし今回は考える余地がないほど切羽詰った中で、ただ、必ず出来る！の思いだけで夢中になって飛び込み勧誘をしました。“動いてみよう”のバッジの大切さを感じるとともに、倫理の醍醐味を味わわせていただきました。“人の喜びをわが喜びに”会員の皆様にも味わわせてやらねばと思っています。
- ③『人生にムダはない』



山形市蔵王倫理法人会

会長 晋道 純一

- ①進和ラベル印刷株式会社 代表取締役
- ②私が山形市倫理法人会に入会のきっかけは、現在、山形県倫理法人会相談役シベール熊谷社長のご紹介で平成4年のことでございます。当時まだ創業5年目で、「この先経営は本当に大丈夫なのか？」そんな不安と危機感でいっぱいの方に「倫理法人会というところに入会する余裕などあるのだろうか？でもシベールさんは大事なお客様だし断る訳にもいかない」という不順な動機で入会いたしました。年月が流れるのは早いもので今年4月からは会社設立19期目に入ります。いろんな事がありましたが、現在社員43名、庄内営業所と東京営業所も新設することができました。創業当初は無我夢中でなんでも我流で経営をやっておりましたが、社員が多くなるにつれ、事を成就するには原理原則があると気づかせてくれたのは倫理法人会との出会いです。まずはあいさつ、返事、礼儀、後始末、感謝、そして毎朝全員参加の社内朝礼を実践しております。その継続の力と元気な社風がお客様満足に繋がると考えております。
これからも明朗・愛和・喜働の万人幸福の道を心して経営に取り組んでいきたいと思っております。今でこそ言えますが、熊谷社長から倫理法人会に入会を勧めてもらってなければ「今はなかった」といっても過言ではありません。感謝！
最後に経営環境は未だ混沌状態ですが、まずは倫理経営を実践し、1社でも元気な企業体質を創ってほしいものです。
- ③『目標は高く 頭は低く 実践は足元から』
『才は徳の資なり、徳は才の師なり』



米沢市倫理法人会

会長 上杉 勝己

- ①新産業開発研究所 代表
- ②58才まで会社経営をつづけてきました。常に人と人との問題のみの会社でありました。自分にはリーダーとしての資格がないと感じ、会社を解散しました。悔しかったことは申すまでもありません。時を同じくして倫理と出会いました。断れない友人からの誘いでした。米沢市倫理法人会設立の時に「倫理とは何か」という話をうかがい、長年私がさがしもめた人生の規範というべきことが解ったのです。何ら新しくも難しくもないあたりまえのことでした。それは、「自分が変われば相手も変わる」この一つの言葉でした。頭では解っておりましたが、実践がともなわなかったのです。一つ一つ実行しました。私の廻りは大きく変わりました。それでも会社はもどりません。65才です。
- ③『一人一人の心に火を灯そう』



山形市倫理法人会

会長 中村 恒一

- ①株式会社マルナカ中村商店 代表取締役社長
- ②ある朝、私は「人を変えるよりも自分を改める」との出会いから生き方が変わりました。
これを期に、「楽しく暮らす、幸福に生きる」を人生の望みとして定め、心の奥深く刻み込みました。それまでは苦痛に感じていたMSや日々の実践が雨後の晴れ間のような爽やかな気持ちに変わり、実にた易く取り組めるようになりました。
以来14年間を振り返ると、朝起き、清掃、気づきによる即行即止、挨拶、返事、礼儀、姿勢（立腰）、手紙、整理、後始末、早い支払い、即断即決、墓参、感謝、家族愛等数々の小さな実践の軌跡がよみがえります。この過程で己のみの幸せから夫婦親子、社員そして倫友はもとより近隣の人々の幸せを考えられる自分の存在に我ながら驚いています。しかし、本当の幸は、明るく穏やかな安心できる社会の中にあるものと思います。日本創生に向けて先ずは山形創生の輪を拡げるよう未来にむかって、努力を積んで行きます。
- ③『念ずれば花開く』

倫理法人会憲章

倫理法人会は、実行によって直ちに正しさが証明できる純粋倫理を基底に、経営者の自己革新をはかり、心の経営をめざす人々のネットワークを拡げ、共尊共生の精神に則った健全な繁栄を実現し、地域社会の発展と美しい世界づくりに貢献することを目的とした団体である。これがため以下「活動指針」と「会員心得」を掲げる。

【倫理法人会活動指針】

1. 倫理の学習と実践の場を提供し、よりよい生活習慣とゆたかな人間性をそなえたリーダーを養成する。
2. 深く家族を愛し、篤く祖先を敬い、なごやかでゆるぎない家庭を築く人を育てる。
3. 「明朗」「愛和」「喜働」の実践により、躍動する職場づくりを推進する。
4. 愛と敬と感謝の経営をめざす会員の輪を拡げ、各種の活動をとおして地域社会の発展に寄与する。
5. 自然を畏敬・親愛し、「地球人」たる自覚を深め、環境の保全と美化に貢献する。

【倫理法人会会員心得】

1. 朗らかに働き、喜びの人生を創造します。
2. 約束を守り、信頼の輪をひろげます。
3. 人を愛して争わず、互いの繁栄をねがいます。



鶴岡市倫理法人会

会長 秋山 周三

- ①秋山鉄工株式会社 代表取締役
- ②倫理と出会って変わったこと、ですかあ。
何と言っても、「人との出会い」に尽きますねえ。
設立準備の3ヶ月間で約400人。その後も約150人とお目にかかりましたから。そのうちの100人くらいとはかなりの長時間に渡ってお話させていただきました。
この会の設立がなければ一生お話しすることも無かったであろう、多くの人たちとご縁を頂いたことが何よりの財産になりました。
もう一つ以前と変わったことは、お墓の掃除をするようになったことですね。
あっ、もう一つありました。本業をやっている時間がかかり少なくなりました。これは決して悪いことばかりでもなくて、良い面も沢山あるんです。
- ③『努力は積み重ねるから崩れる』



寒河江市倫理法人会

会長 中村 俊光

- ①丸菱食品株式会社 代表取締役社長
- ②山形県倫理法人会会報創刊おめでとうございます。
H15.6.17に倫理との出会いが始まる。主力銀行支店長の紹介にてシベール社長・熊谷眞一氏と企画室長の高橋氏と来社。実は二月より倫理法人会設立の会員拡大の為、寒河江市内の企業訪問をしている最中とのこと。創設者丸山敏雄先生の話。戦後教育の荒廃に苦慮され、純粋倫理を中心に正しい倫理経営を出来る人づくり、仲間づくりをしているとのこと。教育改革、日教組の活動に大変不満を持っている一人としてすぐ入会する。
H15.7.31、設立総会に向け会長の重責も引き受けてしまう。7月31日全国各地より来賓、倫友の御出席をいただき、寒河江市倫理法人会が設立され船出する。早や1年8ヶ月。多くの倫友の講話をいただき、多くの本を読み、指導を受け人間的に大きく変化させていただき感謝しております。
- ③『人生すべて出会いから始まる
出会いは宝
苦難は幸福の門
今日は最良の一日
即行、即止は今年の目標』



天童市倫理法人会

会長 多田 竣一

- ①株式会社多田木工製作所 代表取締役
- ②天童市倫理法人会は設立4年目。会員各社まだまだ思考錯誤の単会です。
平成17年度までの会員目標は115社。それに対して現在54社と達成率は50%弱（平成17年2月現在）ですが、ここに来て会員の減少もなく、事実上の本会員が形成されつつあります。
今後はこの会員を核として目標達成に向けて更なる普及拡大に邁進することはもちろん、会員一人一人が自らの実践をとおして活力ある元気な倫理経営企業づくりをめざして“打つ手は無限”を念頭に「実践実践また実践 やってやれないことはない やらずにできるわけはない」が挨拶代わりにでてくるように、たえず原点を忘れず「日本創生 普及は宝 いざ行こう」のスローガンのもと目標達成を目指します。
- ③『一秒を二秒に活かせ
時間は黄金に勝る』

倫理経営講演会開催される!!



藤崎正剛氏

平成十七年度倫理経営講演会が、日本創生の心「小さなことから会社は変わる」をテーマに、二月十四日(月)山形市倫理法人会・山形市蔵王倫理法人会の主催で、オーヌマホテルを会場にして行なわれました。

事業体験報告は、飯田市倫理法人会相談役・(有)福島木工代表取締役役員福島秀治氏の「気力と体力から仕事が生まれる」と題して行われました。その後講演として法人局普及事業部主席・九州沖縄方面方面長藤崎正剛氏の日本創生の心「小さなことから会社は変わる」と題して講演が行なわれ、三二〇

人の聴衆者は真剣に拝聴し、有意義な講演会でありました。
鶴岡市倫理経営講演会は三月九日(水)大成功裡に終わりました。

今後の倫理経営講演会の予定

- 天童市倫理法人会
倫理経営講演会
平成十七年四月十九日(火)
- 寒河江市倫理法人会
倫理経営講演会
平成十七年五月十二日(木)
- 米沢市倫理法人会
倫理経営講演会
平成十七年五月十九日(木)



福島秀治氏

編 集 後 記

私事、広報委員長を委嘱された時は、広報誌の発行をすることになるとは予想だにせず、お引受致しました。中学生の頃、放課後ガリバンで手を真黒にしてクラス便り(?)を印刷した淡い思い出がほんのりと蘇りましたが、何故か今回はいまいち気持ちに前には出ませんでした。
「何事も逃れていると、いつまでも心の負担がつきまとう、心が先だ」。ようやく初春の頃から腰を上げた所があります。お陰様で今回広報誌を創刊することが出来ました。今後共会員の皆様の御協力を心よりお願い申し上げます。

(桜井 記)

山形県倫理法人会県内レクチャー名簿

山形市倫理法人会	(株)伊藤製作所	伊藤 明彦
	カーチェック(株)	千葉 昭男
	八百坊温泉	鈴木 貞子
米沢市倫理法人会	(株)木村醤油店	木村 健彦
	(株)大清	中村 恵一
	相田建設(株)	相田 晃輔
	北日本無線(株)	宮下 徹
天童市倫理法人会	(有)三友医療	稲毛 勝敏
	アロエベラオブ東北	佐々木新次
寒河江市倫理法人会	(株)奥山会計事務所	奥山 正明
	ニットオカザキ	岡崎 大造
	布施建設(株)	桜井 仁
山形市蔵王倫理法人会	(株)でん六	鈴木 隆一
	(株)たくみ	佐藤 靖之
	(株)エム・エス・アイ	金子 昌弘
酒田市倫理法人会	酒田米菓(株)	佐藤 茂
	加藤総業(株)	加藤 聡
	(株)新和設備	井上 義裕
鶴岡市倫理法人会	秋山鉄工(株)	秋山 周三
	山形総販(株)	佐藤 和人